

第2次掛川市総合計画【ポストコロナ編】 令和2年度の改定について

1 概要

第2次掛川市総合計画は、新しい令和の時代となり、SDGs や人生100年時代等の時代背景の観点を加え、令和2年3月に改定を行ったところである。

しかし、令和2年度に入り、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により社会が大きく変わる中、迅速にポストコロナ社会に向けたまちづくりを検討し、改定を行った。

2 改定の方針

【ポストコロナ社会の視点】

- ①誰ひとり取り残さない包摂的な社会の実現。
- ②安全・安心な質の高い生活を実現するための新しい生活様式とデジタル化の推進。
- ③地域内で循環する持続可能な社会の実現。
- ④選ばれるまちへ。（東京一極集中から地方分散へ）

3 令和2年度 改定のポイント

(1) 基本構想

①「将来人口」の見直し

2040年の目標人口12万人は変えずに、最新の数値や指標による再試算により、ゆるやかな人口増加へと修正した。（コロナの影響を受けた令和2年12月の掛川市の人口をベースに、合計特殊出生率等の試算のための指標を国や社人研の最新の推計値に更新して修正。）

②「土地利用構想」の見直し

多極ネットワーク型コンパクトシティの観点を加え、「安全・安心な生活環境の形成」と、「調和とバランスの取れた持続可能なまちづくり」の2本の柱にまとめた。

③「戦略方針・戦略」見直し

6本だった戦略の柱を、新たに「シティプロモーション分野」を追加し、7本の柱とした。

4 令和2年度 改定の経緯

検討組織	内容
総合計画審議会	令和2年11月9日、12月11日、令和3年1月18日(諮問)、2月4日(答申)
庁内策定委員会	令和2年9月30日、10月29日、11月26日、令和3年1月6日
部長会	令和2年9月24日、10月26日、11月19日、12月24日
庁内各部課 調査・ヒアリング等	令和2年9月～コロナ禍における市内状況等データの収集・分析 ポストコロナ社会に向けた方針・事業に関する調査 10月～基本構想改定案の確認・修正
パブリックコメント	令和2年12月18日～令和3年1月17日
掛川市議会	全員協議会：令和2年12月18日、令和3年2月5日 2月定例会：令和3年3月4日基本構想議決